



## 市民の声でより良い敦賀港へ！！

平成27年10月28日（水）、敦賀に関連する日本海沿岸地域の郷土史を調査研究する市民グループ「日本海地誌調査研究会」と当事務所が、敦賀港について意見を交換する「サロン懇談会」を開催しました。同懇談会は、行政や港湾関係者だけでなく、様々な分野の方々の意見を敦賀港の整備に活かしていくため、平成12年から毎年開催しており、今回で16回目となります。

開催にあたり、当事務所の吉田所長より「敦賀港のメイン事業として進めてきた鞠山防波堤も、今年度末には延伸完了を迎え、より円滑な港湾物流が可能となります。今後も皆様からの意見をふまえ、港湾整備を進めていければと思います。」と挨拶し、続いて日本海地誌調査研究会の繁田会長から「最初は、研究会員4名と港湾事務所5名で始まったこの懇談会も16回目を迎えることができ、ありがたく思っています。研究会員は、敦賀を愛する気持ちが強い人達ですので、大変な課題を投げかけるかと思いますが、よろしくお願いいたします。」と挨拶を頂きました。

その後、当事務所の辻企画調整課長から「敦賀港を取り巻く課題」、石井企画調整係長から「敦賀港の背後圏について」と題して、二つの情報提供を行いました。

意見交換では、「敦賀港の利用拡大には滋賀県湖西地域とのつながりを強くしていくべきでは」、「クルーズ船が寄港してもらえるような敦賀市の魅力ある街づくりが大切」、「敦賀港のソフト面の充実が課題」など、敦賀市や敦賀港が発展していくための様々な意見を頂き、活発な意見交換の場となりました。



吉田敦賀港湾事務所長



繁田会長の挨拶



情報提供の様子



参加頂いた日本海地誌調査研究会の皆様